

**令和３年度第３回守谷市保健福祉審議会
書面協議結果説明書【保健センター】**

◎協議事項 1

第三次健康もりや21計画(案)について

1. 埤本委員

【意見】

安心、安全な生活を送りたいという願い、これを支えるのは心身ともに健康な日常だと思う。それが出来ない不都合が生じた場合に、相談できる人、施策が身近にあることが大切。その意味合いからも、第三次健康もりや21計画の考策はすばらしい。ただ、施策を実行する場合、相談窓口等についての広報活動が大事であると考えます。

【回答】

今後、事業に取り組む中で、相談窓口等の普及啓発活動を推進します。

2. 小田委員

【意見】

① こころの健康（自殺）の対策について

福祉施設を利用している本人や家族の中にも、自殺を考えたこと、自殺を図る（失敗した）こと、常に消えたい、死にたいと考えている方が少なくありません。守谷市在住の方でも相当数いらっしゃるのが現状で、調査の数に反映されているのか疑問を感じています。

② 保健センターの機能・役割として、相談、普及、人材育成はもとより精神病児者、精神障がい児者のこころの健康、自殺に関する問題や課題等の解決に対し、地域の福祉施設との連携を図れるような関係や体制の構築を御検討いただきたいと考えています。

【回答】

① 自殺については、アンケートの中で、「本気で自殺を考えたことがありますか」という設問で約1割の方が「ある」と回答し、若年者ほど多い傾向にあります。市としては、各種相談の充実等を行い、回答した方が自殺に至らないよう施策を推進します。

② P132、P133の取組をとおして、関係機関との連携体制の構築に努めていきます。

3. 吉田委員

【意見】

- ① P68栄養健康教育実施とはどのようなものでしょうか。
- ② 学校給食において茨城県産食材を使用することは良いことです。守谷市産の使用は何かありますか。

【回答】

- ① 小学校4年生を対象に、生活習慣病予防を目的に野菜摂取の推進を図る健康教育を実施しています。令和2年度はコロナ禍で学校に出向いての健康教育ができないため、保健センターで目的に沿ったテキストを作成し、各小学校で活用しています。令和3年度もコロナ禍が続く各小学校に出向けないため、テキストに沿ったDVDを保健センターで作成し、各小学校に配布します。
- ② 守谷市では、毎月19日の食育の日から1週間を「いばらき県産を食べよう」として、地産地消の給食を実施しています。守谷産の食材では、味噌やレンコン、飲むヨーグルト、季節の野菜などを使用しています。

4. 横張委員

【意見】

- ① 第三次守谷市総合計画と整合を図るとありますが、どのように図りますか。
- ② 第二次健康もりや21計画と第二次守谷市食育推進計画の令和2年度現状値が項目別に○、△、×で評価されていますが、各計画全体で見たとき、どうであったのかという評価基準をつくってはいかがでしょうか。

【回答】

- ① 第三次守谷市総合計画が最上位計画となることから、第三次守谷市総合計画作成のワーキングチームで健康に関する項目を本計画と合わせ、より着実に事業を推進する体制とします。また、第三次守谷市総合計画に記載されることにより、市全体の指針になるため、第三次守谷市総合計画と整合を図り、策定します。
- ② 第二次健康もりや21計画と第二次守谷市食育推進計画の進捗状況については、目標値に対し、令和2年度の実績値が「達成」した項目は○、「達成していないが、計画策定当時より数値が向上した項目」は△、「達成しておらず、計画策定当時より数値が悪化した項目」は×として、評価しています。この評価については、第三次健康もりや21計画においても、同様の評価基準とし、計画を推進していきます。

また、それぞれの計画を評価することで、結果として全体の評価になると考えます。

5. 田上委員

【意見】

計画（案）については、現状把握、課題の抽出など、市民アンケート等をふまえ、良くできていると思います。大切なことは、いかに市民に計画を理解していただき、実践できるかです。P158, P159に記載してあるとおりに取り組んでいただければと思います。

【回答】

意識して取り組んでいきます。

6. 竹内委員

【意見】

- ① P7 死亡率の推移について、年齢調整はどうなっているのでしょうか。
- ② P9 SMR の算出式等を示してほしいです。
- ③ P11 平均余命とは0歳の平均余命のことでしょうか。
- ④ P13 医療費の定義は。国保のデータのものでしょうか。人口のどれだけをカバーしているのでしょうか。
- ⑤ P16 がん検診受診率は市の検診に限定されているのでしょうか。
- ⑥ P21～ nが100以下のとき、%表示は小数点以下にしていけない。
有効数字の桁数を考え修正が必要。膨大なページが同じあやまりをおかしています。
- ⑦ P31 【あなた自身について】でわかるのは市民のことではなく、回答者のことであるが、そのように読み取れない文章が書かれています。
- ⑧ P127 【自殺の危機経路】について、どの経路が当市で重要で、どの経路を重視しているのでしょうか。
- ⑨ P159 PDCAの主語がありません。P158に示された体制のそれぞれが主語になりうる。あるいは、全てを市が引き受けるということでしょうか。

【回答】

- ① 死亡率の数値については、「茨城県人口動態統計」より引用してい

ます。「茨城県人口動態統計」は、年齢調整をおこなっておらず、死亡数÷守谷市の人口×1,000人で算出しています。

- ② このデータは、「令和2年茨城県市町村別健康指標」より引用しています。「令和2年茨城県市町村別健康指標」によると、SMRの計算式は以下になります。

i 各年齢階級別に、「全国と同じ死亡率ならこの市町村では何人死亡するはずか」（期待死亡数）を求めます。

$$(\text{期待死亡数}) = (\text{全国死亡率}) \times (\text{市町村の人口})$$

ii 上記 i で算出した年齢階級別の期待死亡数を累計して、全年齢の期待死亡数を算出します。

iii 実際の死亡数を上記 ii で算出した期待死亡数でわり算します。

$$(\text{標準化死亡比}) = (\text{実際の死亡数}) \div (\text{期待死亡数})$$

iv 実際の死亡数から上記 ii で算出した期待死亡数をひき算し、差を求めます。（なお、この値は過剰死亡数と言われる場合もあります。）

$$(\text{期待死亡数との差}) = (\text{実際の死亡数}) - (\text{期待死亡数})$$

- ③ 0歳0週における平均余命を指しています。
- ④ 本統計における医療費については、市が管理している国民健康保険のデータになります。なお、国民健康保険者数（令和元年）は、12,274人となり、総人口（令和元年）の18.1%となっています。
- ⑤ 市のがん検診に限定した受診率です。
- ⑥ 大変失礼いたしました。修正します。
- ⑦ アンケートについては、市民の中から人口構成等を踏まえ、無作為抽出で行っております。しかし、回答者の結果をまとめたものなので、題目については【あなた自身について】から【市民調査回答者について】に書き換えさせていただきます。
- ⑧ 「自殺の危機経路」は代表例であり、守谷市としては、P126にあります若年者に対する対策が重要と考え重点施策に設定しています。
- ⑨ PDCAサイクルについては、本計画に掲載している事業について、市が計画の推進体制機関と連携しながら進捗状況を把握し、改善を検討していきます。

7. 清水委員

【意見】

全体的に大変よくまとまっていると思います。

- ① P10 健康寿命について、守谷市のデータはないのでしょうか。
- ② P20 誤字 （誤）性と→（正）生徒
- ③ P51 一日の食塩摂取目標量の注書き
- ④ P66～P68 令和3年度の目標値が、平成25年度の現状値より低いのは何故でしょうか。
- ⑤ P74 誤字 （誤）6分野→（正）5分野

【回答】

- ① 健康寿命は国, 県のみの統計となり, 守谷市のデータはありません。
- ② 大変失礼いたしました。修正します。
- ③ 1日の食塩摂取目標量（男性7.5g, 女性6.5g）について注釈を記載します。
- ④ 目標値については, 「数値を減らすこと」を目標としているものがあり, 平成25年度より数値を減少させる（例えば, 男性のBMI25以上の割合者を減らす等）目標の場合は, 平成25年度より令和3年度の数値が低くなっています。
- ⑤ 大変失礼いたしました。修正します。

**令和３年度第３回守谷市保健福祉審議会
書面協議結果説明書【社会福祉課】**

◎報告事項 １

令和３年度第１回地域福祉推進委員会開催報告について

１． 埤本委員

【意見】

今後、コロナ禍での福祉活動のあり方の研究も必要になると思います。

【回答】

地域福祉活動においても、コロナ禍の影響で、地域で行われている通いの場や見守り活動等の活動自粛や休止、延期をせざるを得ない状況が続いています。こういった中、地域福祉活動の停滞やその影響による地域力の低下を防ぐため、感染予防対策を徹底するとともに、ご意見のとおり、コロナ禍における交流の場のあり方や健康づくり・介護予防、見守りのあり方等を検討していきたいと考えています。

２． 田上委員

【意見】

「コロナ禍で認知症が進んでいる案件が生じている」とありますが、どの位あるのでしょうか。前年度比較等も含めて教えていただければと思います。

【回答】

地域福祉推進委員会において、委員の方から「コロナの影響で認知症が進んでいる方がいらっしゃる」との発言がありましたが、市が調査等を実施しての報告ではないため、数でお示しすることができません。

ただし、令和3年8月に75歳と79歳の方を対象に、生活機能等のアンケートを実施しており、アンケートの結果、専門職による訪問等で、心身の状態を確認していきますので、結果がまとまり次第ご報告させていただきたいと思います。（健幸長寿課）

３． 竹内委員

【意見】

①（１）「地域福祉活動に参加した市民の割合」については、他地域等と比較は行われたのでしょうか。横ばいは頭打ちではなく、十分に活発であ

る可能性はないでしょうか。

- ②（３）コロナ禍の認知症についての実態把握は行われているのでしょうか。どこが担当すべきなのでしょうか。

【回答】

- ① 他市町村との比較は行っておりませんが、「地域福祉活動に参加した市民の割合」を地域福祉活動の担い手となる世代の割合と比較してみると、まず、市民全体の割合は令和2年度19.6%、令和元年度21.8%、平成30年度20.7%となっています。

しかし、地域福祉活動の担い手となる世代（65歳以上の市民）の数値については、令和2年度30.3%、令和元年度31.8%、平成30年度30.6%）と10ポイント程度上回っており、地域福祉活動の担い手となる世代の3人に1人は地域福祉活動（手助けしたり、助け合う取組）に参加している状況にあります。

また、このアンケートによる地域福祉活動の内容については、「手助けしたり、助け合う取組」としてありますが、各地区のまちづくり協議会や地域福祉活動計画実行委員会では、市からの交付金や助成金を活用し、助け合い活動をはじめとする地域行事等による絆づくり活動や地域防災強化事業などの地域福祉活動を実施しています。これらの今年度の各地区の取組予定数の合計は84事業となっており、指数には表れておりませんが、十分に地域福祉活動が展開されているものと、考えています。

- ② 守谷市においてコロナ禍の認知症の実態把握は実施しておりません。

しかしながら、「熱中症予防訪問」として、熱中症予防の啓発及び生活状態等の把握目的に80歳以上のひとり暮らし高齢者及び80歳以上のみ世帯に、令和3年6月から9月に地域包括支援センターが訪問を実施しています。また、令和3年8月には75歳・79歳の方を対象に生活機能等のアンケートを実施しており、アンケートの結果、専門職による訪問等で心身の状態把握をする中で認知機能も併せて確認します。

今後、認知症の実態把握等を実施する場合は、健幸長寿課が主管課になると考えます。（健幸長寿課）

4. 清水委員

【意見】

- ① 新たに実施した高齢者施設へのボランティア活動が、コロナ禍により中止していますが、コロナ禍が収束した段階での再実施を要望します。また、今後は、障がい者施設への実施もご検討願います。
- ② 保健センターで開催されていた「高齢者向けの料理教室」も再開していただきたいです。

【回答】

- ① 介護支援ボランティアポイント制度については、令和2年度以降新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ボランティア受入れが難しく再開できていないのが現状です。感染の状況を踏まえ、既存の受入施設との調整を行うとともに新たな受入場所を検討し、再開を目指していきたいと考えております。（健幸長寿課）
- ② 令和元年度までは、高齢者向け（料理初心者向け）の料理教室を開催していましたが、現在は実施しておりません。新型コロナウイルス感染の状況と、高齢者の栄養に関する課題を踏まえ教室企画を検討していきたいと思います。（健幸長寿課）

**令和３年度第３回守谷市保健福祉審議会
書面協議結果説明書【保健センター】**

◎報告事項 ２

令和３年度第１回健康づくり分科会開催報告について

１．竹内委員

【意見】

- ① P2 児童虐待について、市内の関連組織の連携状況はどうか。児童虐待はどこで発見されることが多いのでしょうか。
- ② P2 見守りサポートについて、「かげながら見守る」という見守りも活動とされているのでしょうか。

【回答】

- ① 守谷市では、ケースを通じて各関係機関と連携し、支援をしています。また、のびのび子育て課の中に子ども家庭支援拠点を令和２年度から立ち上げ、庁内の連携に留まらず、医療や警察など関係機関と情報共有や支援体制の強化を行っております。児童虐待の発見につながる虐待通報は、令和２年度５１件あり、通報者は家族・親戚、学校、近隣知人などからなっています。
- ② 各地域には、町内会や民生委員など見守り活動をされている方がいて、何か変化や気づきがあった場合は関係各課に情報提供をし、支援につなげています。

２．清水委員

【意見】

自殺や虐待対策は、近隣住民の方が気づきやすいと思います。
しかし、今日ではプライバシーの問題もあり、なかなか難しいです。
そこで、町内会・自治会及び民生委員の力が重要かと思います。
しかしながら、一人の民生委員では地域全体をフォローすることに限界があります。
提案ですが、市独自で民生委員を補佐する方を任命したらいかがでしょうか。

【回答】

市独自で民生委員を補佐する方（補佐人）を任命したらいかがかというご提案ありがとうございます。
市としては、民生委員の活動において、各種の援助を必要とする人（要援助者）に対して、手厚い援助体制を整備するためには、日頃から、福

社施設やボランティア（自治会，町内会，まちづくり協議会等）などと密接に連携を図る必要があると考えております。一方で，民生委員が補佐人と要援助者に関する情報を共有する場合，個人情報保護の観点から，共有する情報の内容，提供先及び目的について，事前に要援助者やその世帯員に説明し，了解を得る必要があります。これらのことから，民生委員と補佐人との情報の連携において，煩雑な処理過程が新たに生じることが懸念されます。

市としましては，民生委員活動に寄与されるご提案の課題を解決する方法を検討してまいります。（社会福祉課）

◎報告事項 3

新型コロナウイルスワクチン接種状況について

1. 埤本委員

【意見】

65歳以上のワクチン接種率が90%超であることはとても良い。重症化リスク減に貢献しているのではないのでしょうか。

【回答】

現在接種が行われている新型コロナワクチンは、いずれも新型コロナウイルス感染症の発症を予防する高い効果があり、また、重症化を予防する効果が期待されています。

特に高齢者は重症化リスクが高いとされていますが、高齢者のワクチン接種が進むにつれ、高齢者の感染者数が減少傾向となった状況を鑑みると、ワクチン接種により感染が抑えられ、ひいては重症化リスクの低減につながっているものと考えられます。

2. 小田委員

【意見】

障がい児者施設利用者の集団接種について、ご理解とご協力を賜りありがとうございました。

今回得られた課題を次につなげるためにも、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【回答】

障がい児（者）の集団接種に際しては、多大なるご協力をいただきありがとうございました。

今回、集団接種を実施し、障がいをお持ちの方につきましては、その障がいの特性に応じた対応が必要であると感じたところです。また、今後このような集団接種を実施するに当たりましては、関係団体及び各施設の皆様の協力も不可欠と考えておりますので、今後ともご協力の程お願いいたします。

3. 田上委員

【意見】

① 新型コロナウイルスワクチンについて、国はもう少しうまくやれたのではないかなと思います。こうした意見に対して、何をどうすれば良かったのかなどの具体的な意見はあったのでしょうか。

② 国や県から支給されたワクチンですが、無駄なく接種されたのでしょうか。

③ 若い方も含めて希望者の接種が完了するのは、いつ頃の見込でしょう

うか。

【回答】

- ① 新型コロナワクチン接種につきましては、過去に例のない規模の住民接種であることから、準備段階から手探りで進めてまいりました。市民の皆様及び医療機関等の皆様のご理解、ご協力により、これまで大きな混乱もなく順調に進めてこられたものと考えております。
今後、新たな感染症が発生した際にも、今回の経験を生かし適切に対応できるよう引き継いでいきます。
- ② 急なキャンセル等があった際にもワクチンを無駄にすることのないよう、キャンセル待ち登録者を募集するなど、開始当初よりワクチンの廃棄防止に努めてきており、供給されたワクチンは無駄なく接種されています。
- ③ 概ね11月中の完了を見込んでおりますが、新たに接種対象年齢になる方等もいることから、ワクチン接種の実施期間として定められている令和4年2月28日までは継続していく予定です。

4. 竹内委員

【意見】

- ① 接種は集団および個別でどのようにおこなわれているのでしょうか。
- ② VRS入力はどのように行われているのでしょうか。適切に接種が行われているだけでなく、記録登録も適切であるように思われます。どのような工夫をしたのでしょうか。

【回答】

- ① 新型コロナワクチン接種につきましては、市内26医療機関を接種会場とした個別接種を主体に実施しています。また、働く世代の接種機会の確保を図る観点から、保健センターを会場に8月1日から9月5日及び9月19日から10月17日までの日曜日に合わせて11回の集団接種を実施しました。
- ② 接種記録の登録につきましては、国のワクチン接種記録システム（VRS）により行っているもので、国から全ての接種会場に貸与されているタブレットにより接種券に記されたバーコードを読み取ることで、適切に登録される仕組みになっているものです。
しかしながら、タブレットによるバーコードの読み取りに際しては、1件の読み取りに時間を要し、接種数の多い医療機関においては登録が遅れる傾向も見られたことから、市でタブレットに接続するバーコードリーダーを購入し貸与することで登録の迅速化を図っています。

5. 清水委員

【意見】

市が「新型コロナウイルス対策本部」の基、新たに対策室を設置し、早期に消毒液を提供したり、高齢者からワクチン接種を実施するなど、コロナウイルスに的確に対処されたことについて、一住民として、評価します。

【回答】

市では、令和2年2月28日に守谷市新型コロナウイルス対策本部を設置し、これまで35回にわたり対策本部会議を開催し感染症対策を進めてまいりました。ワクチン接種につきましては、同年5月1日から高齢者施設の巡回接種から開始し、現在までに対象者の8割を超える方が1回目の接種を終え、7割を超える方が2回目の接種を完了している状況です。

現在、感染状況が落ち着いている傾向ではありますが、引き続き感染症対策に努めてまいります。

6. 中山委員

【意見】

先日報道された県内市町村別接種状況を見ると守谷市は県内で下位にあるようです。私見ですが、要因の一つとして、他市町村と比較して市民全体における若年層の割合が高いのかと思われます。今後、全体の接種率向上が必要かと考えます。また、既接種者の3回目接種はどのような状況、計画等、お知らせいただけたらと思います。

【回答】

県が公表している10月16日現在の接種状況を見ますと、県全体では対象者の1回目接種率が85.1%、2回目接種率が74.2%、守谷市については1回目が85.5%、2回目が71.8%となっています。現時点では、2回目の接種率は低いものの、1回目の接種率を見る限り他市町村と比較して特に低い状況ではないと考えております。しかしながら、ご指摘のとおり他市町村と比較して全人口に占める若年層の割合が高いことから、接種率が低い傾向にある若年層の接種率向上を図りたいと考えています。

3回目の追加接種につきましては、国の厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会において、追加接種（3回目）を行う必要があり、その実施の時期は2回接種完了から概ね8か月以上後とすることが妥当であるとの見解が示され、早ければ12月から医療従事者等の接種が開始される予定です。開始時期や対象者等の詳細は決まっておりませんが、2回の接種を受けた全員が対象になることを想定して準備する旨国からの事務連絡を受け、現在準備を進めているところです。